

令和4年1月19日14時00分

資料配布 近畿地方整備局

世界遺産平城宮跡の建築復原工事を支える職人の方々を紹介

～^{かざりかなぐ}鏝金具の職人を担い手確保として紹介するのは国土交通省（営繕）として初の取組～

近畿地方整備局では、伝統的な工法の担い手確保に資するため、平城宮跡の南門復原工事で活躍される職人の方々をホームページにて紹介しています。

今回は第3弾として、2020年にユネスコ無形文化遺産にも登録された伝統建築工匠の技「建造物装飾」のひとつ、^{かざりかなぐ}【鏝金具】に携わる方々を紹介します。

○建築に係る伝統的な工法は、歴史的建造物等の保存修理のみならず現代の建築物にも活用されている技術です。その技を受け継ぐ職人の数は年々減少しており、技の伝承と技能を継承する担い手の確保は重要な課題となっています。

○近畿地方整備局では担い手確保に資するため、世界遺産平城宮跡の南門復原工事において伝統的な工法に携わる職人の方々を、技の魅力とともにホームページにて紹介しています。第1弾の木工事、第2弾の瓦製作に引き続き、今回は【鏝金具】について掲載しました。鏝金具を含む^{でんとうけんちくこうしょう わざ}「伝統建築工匠の技」は2020年にユネスコ無形文化遺産に登録されています。



南門（令和4年3月完成予定）



鏝金具（木口金物）作業風景

1. 掲載先

<https://www.kkr.mlit.go.jp/build/policy/other/ninaite.html>

2. 掲載内容

- (1) 平城宮跡第一次大極殿院南門復原工事で用いられた鏝金具の紹介
- (2) 鏝金具に携わる職人の方々へのインタビュー

< 取扱い > _____

< 配布場所 > 近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ

< 問い合わせ先 >

国土交通省 近畿地方整備局 営繕部 計画課長

^{たかい まさき}高井 雅木（内線 5151）

計画課 営繕技術専門官

^{やまもと たくや}山本 卓也（内線 5156）

TEL 06-6942-1141（代表）、06-6944-0004（直通）

平城宮跡歴史公園 第一次大極殿院 南門復原整備工事

特別史跡であり世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つでもある平城宮跡内の**第一次大極殿院**は、奈良時代前半、国家で最も重要な儀式が行われていた空間です。

「第一次大極殿院建造物復原整備計画（平成23年）」により、現在は「**南門**」の復原工事を行っています。



南門
令和4年3月 完成予定

南門は、**第一次大極殿院**の正面入口となる建造物です。発掘調査や時代考証の結果、間口約22.1 m、奥行約8.8 m、高さ約20.0 mの入母屋造の二重門として復原工事を進めています。

南門復原工事においては、伝統的な材料・工法を用いる基本方針を踏まえ、木材加工や瓦葺き、金具、左官、塗装等に伝統的な工法を採用しています。

鍔金具とは・・・

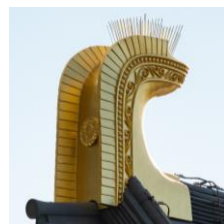
建築物における金具とは主に装飾品や補強材のことを指し、大きく3種類に分類されます。

- ・釘や鏝(かすがい)等の建物の構造を補強するような建築金具
- ・破風・垂木等の部材の保護するためにその先を覆う包金具
- ・襖引手（ふすまひきて）などの実用的な機能を要した金具

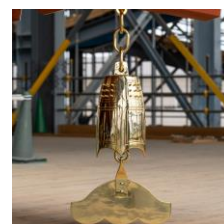
これらがより造形的になり装飾性を帯びた物を**鍔金具(かざりかなぐ)**といいます。現存する日本最古の木造建築である法隆寺にも使用されており、現代にいたるまで様々な場面で使用されています。

南門の復原工事でも様々な鍔金具が使用されています。平城宮内では金具類の出土例は少なかったため、奈良時代の寺院からの出土品や史資料をもとに復原がなされました。

南門復原工事で使用されている鍔金具（一部）



しび
鴟尾



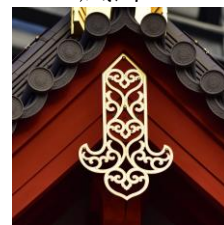
ふうたく
風鐸※



かんぬきかなもの
門金物※



こぐちかなもの
木口金物※



破風拝み金物



おれくぎ
折釘※

南門復原工事で用いられた木口金物

垂木、隅木、尾垂木等の木口面に取付けられた特徴的な意匠を持つ鋳金具を木口金物と呼びます。

その特徴的な文様は平城宮と同年代に建築された大官大寺金堂・阿弥陀浄土院等からの出土品を参考に復原されました。また、取付ける部位によって形状・文様は異なっており、南門では9種類の木口金物が使用されています。



隅木、垂木に取付けられた木口金物※

木口金物の成形方法には銅板から切り出す鍛造と鋳型に溶解した青銅を流し込む鋳造があります。厚さが薄い物は銅板で、それ以外は青銅鋳物で作られています。

表面の仕上げには、当時使われていたとされるアマルガム鍍金（ときん）と現代の主流である電気鍍金が用いられました。



隅木木口金物※



地垂木木口金物※

鋳造の木口金物ができるまで



型板・鋳型作成



流し込む



脱型・研磨



鍍金・乾燥



表面磨き

型板を製作し、それを水ガラスを混ぜた砂で覆います。そこに二酸化炭素を吹付けることで固まり、鋳型となります。

湯口から約1,300℃の融解した青銅を流し込みます。

脱型後、表面の傷や残ったばりを研磨して取り除きます。鬆(す)と呼ばれる内部や表面に発生する空洞もこの段階で修正します。

小片状の金と水銀をよく混ぜ研磨後の鋳物に薄く塗っていきます。その後加熱することで水銀が蒸発し、金が表面に残ります。

金べら（かなべら）を使って鍍金の際の凹凸を均します。その後、梅酢で洗浄し乾燥させれば完成です。

鍔金・乾燥から表面磨きまでを担当された森本鍔金具製作所の職人さんをインタビューしました。

鍔金具に携わる職人の方の紹介① (株) 森本鍔金具製作所

小垂 啓吾さん

経験年数 49年



若い人へのメッセージ…

若い人は一つのことに興味を持ってても他のことには興味を持っていない人が多いと感じます。興味から得た知識は仕事に活かせるのでいろんなことに興味を持ってほしいと思います。

Q この仕事に就いたきっかけは？

A 金属工芸の高校に通っていました。知人の紹介で森本鍔金具製作所に入社しました。

Q 過去に印象に残っている仕事は？

A 伊勢神宮の式年遷宮の時の本殿の扉まわりの仕事です。デザインが凝っていて難しかったのですが、関わったことが嬉しくて印象に残っています。

Q 仕事についてどれくらいで一人前？

A 仕事の内容が多いので全部できるようになるのは10年かかります。経験40年になりますが、まだまだ分からないことがありますね。

Q 若い職人さんから逆に勉強になった経験はありますか？

A 職人根性が出てしまい、こだわりすぎてしまうことがあります。若い人はいい意味であっさりしていて、シンプルでいいのではないかと気づかされ仕事をこなしていく中でそういうのも大事なのかなと感じます。

Q 休日の過ごし方は？

A 家でゆっくり過ごすことが多いですが、美術館や博物館に観に行く事が好きです。やっぱり金属工芸の作品を見てしまいますね。他には自分が手掛けた過去の作品も見に行ったりします。



鋳金具に携わる職人の方の紹介② (株) 森本鋳金具製作所

大井 健志さん

経験年数 16年



若い人へのメッセージ…

最初からうまくはいかないと思います。日々挑戦を重ね、少しずつ腕を磨き上達して行ってほしいです。

Q この仕事に就いたきっかけは？

A ものづくりに興味があって、手仕事で物をつくれる仕事ができたらいいなと思い探していたところ、ジョブパークで森本鋳金具製作所を見つけました。会社見学に来た際に、先輩方が神社の灯籠等を製作している姿を見て楽しそうだな、面白そうだなと思い入社しました。

Q 過去に印象に残っている仕事は？

A 初めて現場に行った仕事の平安神宮です。鋳金具を外す作業をして、どういう風に取り付いているのか、どうやって取り付けるのかを実際に見て、こういう世界もあるのかと知ることが出来ました。

Q この仕事に対する印象は？

A 厳しそうだなと思いました。年齢が上の方が多いので、昔のしきたりとかがあるのかなと思ったりして不安ではありました。

Q 休日の過ごし方は？

A 座って仕事をする事が多いので、ジムに行ったりしてなるべく体を動かすようにしています。過去に手掛けた作品も見に行ったりします。付いているものを見ると嬉しくなります。緩んでないかなと思ったりして確認します。



Q 改めて仕事についてからの印象は？

A 黙々とつくるだけかと思っていました。ほかの業者とか現場をまわったりしてみても、人とのコミュニケーションが必要なんだなと思いました。現場に行くと喋ったりするとこういうやり方があるんだなと知れたりします。



鋳金具に携わる職人の方の紹介③ (株) 森本鋳金具製作所

金守 健太郎さん

経験年数 9年



若い人へのメッセージ…

若いうちは何事にもどんどん挑戦してみてください。意外となんとかなることが多いです。

Q この仕事に就いたきっかけは？

A 元々、物を作る仕事に興味がありました。学生時代は物作りを学んでいたわけではなかったのですが、ハローワークで森本鋳金具製作所の仕事を見つけて、鋳金具についてあまり知りませんでしたが面白そうだなと思って選びました。仕事をしているうちに、すごいことをしていることを実感し改めて面白さを感じました。

Q 過去に印象に残っている仕事は？

A 新調で行った楽車（だんじり）の仕事です。今までには新調でやる機会が少なく勉強する事が多かったので印象に残ってます。もともとある鋳金具を修理するよりも一から作る新調の方が頭を使います。一人前になるためには身につけなければならない技術だと思いますし、いい経験になりました。

Q もう少しで10年の節目ですが、改めてどう感じますか？

A この仕事は分からないことが多いんです。仕事の幅も広いですし毎回初めてやるような内容があるので完璧にできるようにはなれないんじゃないかなというくらい覚えることが多く、日々が勉強です。

Q 休日の過ごし方は？

A 買い物に行ったりと主に家族サービスが多いです。やっぱり物を作るのが好きなので日曜大工のようなこともします。

Q 若手の教育は？

A はじめは先輩の後ろについて作業をみたり教えてもらいながら経験を積んでいきます。ある程度できるようになれば任せてもらえるようになります。一人でやるようになると自分で考えて作業していくので、より勉強になります。



錆金具に携わる職人の方の紹介④ (株) 森本錆金具製作所

吉川 哲人さん

経験年数 5年



若い人へのメッセージ…

自分の興味のある事を仕事にするほうがいいと思います。続けるのが大変なので。何かに行き詰まったら自分自身と対話する良い機会だと思います。おすすめは自分のルーツを探ってみる事です。長所、短所が見えてくる気がします。

Q この仕事に就いたきっかけは？

A 元々、和風のものや古い文化に興味がありました。錆金具についてはあまり知らなかったのですが、歴史のあるものを作ってみたく若者向けのジョブパークで見つけた森本錆金具製作所に入社しました。

Q 学生時代は専門的な学校に通っていたのですか？

A 4年制の普通の大学に通っていましたが、自分もですが、未経験で入ってくる人が多いです。ただ、やっている面白さが分かってきて今では一生続けたい仕事と思っています。

Q 仕事をやってみて思ったことは？

A はじめは1つの技術を覚えたら後はある程度簡単にできるかと思っていました。実際は神具や錆金具のように仕事の幅が広くそれぞれの作り方・技術があって大変です。6年目の今でやっとスタートラインに立てた感じです。

Q 過去に印象に残っている仕事は？

A 東京の水天宮です。初めて全部新調で行った仕事で印象的でした。修理の仕事は昔からある金物を直すので、きれいと言ってもゆがんでたりするんです。それに対して新調だと先輩方が一から作るわけですからめっちゃくちゃきれいなのでできるんです。これを経験したときから錆金具への印象も大きく変わりました。

Q 若手ならではのことは？

A 先輩の作業を見るのも大事なんですけど、実際に自分で作ってみることがいい経験になりますね。練習も兼ねて昼休みに自分で作ってみたりしてます。錆金具だけでなくブックエンドとかなら簡単に作れるので、家で使ったりしています。

Q 休日の過ごし方は？

A 休日は散歩したりカフェでゆっくり過ごすことが多いです。散歩中に神社を見つけると錆金具を見ちゃいます。自分ならこうするかとか考えます。





鋳金具に携わる職人の方の紹介⑤ 一覧※

※個人名の掲載を承諾いただいた方のみ

今回取材をさせていただいた森本鋳金具製作所の皆様

南門復原工事で鋳金具製作をされた企業一覧



(株)森本鋳金具製作所
森本 安之助(もりもと やすのすけ)
小垂 啓吾(こたる けいご)
鬼頭 正彦(きとう まさひこ)
大井 健志(おおい たけし)
松尾 耕(まつお こう)
金守 健太郎(かなもり けんたろう)
吉川 哲人(よしかわ てつひと)
古川 浩明(ふるかわ ひろあき)
森 優(もり ゆう)

企業名(順不同)
(株)森本鋳金具製作所
(株)金井工芸鋳造所
(株)丸和金属研磨工業所
(有)長谷川着色
(株)大谷相模掾鋳造所
(有)飯田塗装工業
(有)三原金箔押
藤本工業(株)
(株)大崇テクノス